

Senriyama

千里山建築会会報

第24号 2012年3月25日発行

千里山建築会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学環境都市工学部建築学科内

TEL : 06(6368)1121 (代表)

FAX : 06(6368)0093 (建築学科共通)

Contents

会長からの挨拶

学内の話題 教室だより

新任の挨拶

在学生への講演会の開催

退職にあたって

懇親会の報告

事務局から

会計、事業報告

スプリングフェスティバル懇親会

開催のお知らせ

事務局からのお願い

編集後記

会長からの挨拶 // 13期 宮本昌彦

皆様、新たな年を迎えられ、いかがお過ごしでしょうか。昨年は3月に東日本大震災が大変な被害をもたらしました。本務の関係で、夏に仙台の大学生(宮城大・宮城教育大・仙台高専)と共同して、被災地の子供たちを元気づけるイベントをしましたが、保護者の方々から「学生とは思えない対応」「久しぶりに子供の笑顔を見た」など多くのご意見をいただきました。また、被災地の復興に役立てるための銭湯計画などからも声がかかっております。一方で、プレートが理論値を超えて大きく動き、仙台東部有料道路の海側は津波被害を大きく受け、七夕の時点でも大変な有り様でした。また、津波の被害に加え、福島原発による放射能被害も甚大なものでした。会員の皆様におかれましても、震災と関わりを持って一年を過ごされたことでしょうか。復興が都市から建築に至るにはまだしばらく時を要し、その後のご苦労は如何ばかりかと推察いたします。ご自愛いただき、長く復興に

尽くされますよう祈念いたします。



また、昨年は千里山建築会主催「建築業界で働くOBによる職種レクチャー」シリーズと題しまして在学生に向けての講演会を実施致しました。3回生、M1を中心に、学生参加者が40名程度ありました。(後に関連記事)さらに他の学年、主に1・2回生の学生に刺激を与えるべく、4月のスプリングフェスティバルで住宅産業への就職とスマートハウス化の事情を語り合う会を持つ企画を進めております。ご助力お願いいたします。

学内の話題

教室だより // 建築学科教育主任 末包伸吾

2009年4月から伝統ある関西大学環境都市工学部建築学科教授に、神戸大学大学院工学研究科建築学専攻准教授から参りました末包伸吾(すえかね・しんご)です。専門は建築計画・設計です。若輩・浅学者ですが、なにとぞご指導のほど、よろしく願いいたします。

本会報へのご挨拶は初めてですが、私自身は、中学と高校時代を豊中市で過ごし実家が今も豊中市内にあることもあり、関西大学にはかねてから親しみを持っておりました。特に大学受験の際には、関西の私立大学

の最高峰である関関同立で伝統がある建築学科を有する大学といえば、関西大学がまずは念頭に浮かぶ存在でもありました。今回、このような機会をいただけたのも何かの縁を感じます。それ故、関西大学建築学科における伝統の継承と更なる発展のための一助をと思っております。と、このように書き連ねましたのも、皆様ご存じの昨今の建設業を取り巻く状況の厳しさとそれに伴う求人状況の厳しさの中、関西大学建築学科の伝統を築いてこられた諸先輩方の、その伝統の力を活かした、

なお一層のご協力を切にお願いしたいということに
ございます。学生諸君は日々努力を積み重ねてくれて
おりますので、なにとぞご高配のほどをよろしく
お願い申し上げます。

さて学内の状況ですが、長らく本学建築学科をお
支えいただいた馬場昌子先生が本年度をもって
退職されます。まず、先生のこれまでの大学なら
びに建築学科への多大なご貢献に謹んでお礼申
上げます。本年4月には豊田政弘先生が、京都
大学次世代開拓研究ユニットを経て助教に着任
いただき、教育・研究に励んでいただいております。
在外研究関係では、江川直樹先生が4月から
7月まで調査に赴かれ、そして松田敏先生が10
月から1年間の予定で出発されました。来年
度は原直也先生の在外研究が予定されてお
ります。松田先生、原先生の在外研究での一層
のご研究の進展を祈念いたしております。

新任の挨拶 // 豊田政弘



千里山建築会の皆様、はじめまして。新任の豊田と申
します。2006年3月に京都大学工学研究科都市
環境工学専攻にて学位を取得した後、株式会社
国際電気通信基礎技術研究所での非常勤研究員
、京都大学次世代開拓研究ユニットでの特定助
教を経て、2011年4月1日付で建築環境工学第
I研究室の助教に着任いたしました。専門は音環
境工学で、特に遮音性能の予測と遮音構造の開
発に力を入れております。1977年

在学生に向けての講演会を開催しました // 13期 宮本昌彦

昨年は、在学生に向けての講演会を10月3日、
関西大学千里山建築会主催「建築業界で働くOB
による職種レクチャー」シリーズとして開催いた
しました。



3回生、M1を主な対象者として、日本設計関
西支社 副支社長 近宮健一氏(11期)に講師
として登壇いただきました。学生参加者は40
名程度で、学部生と院生の比率は同程度。講
義は写真、グラフを交え100枚を超えるパワ
ーポイント資料で工夫され、学生に理解しやす
い内容でした。講義の構成は①設計業務につ
いて、②組織設計事務所について、③設計業
界を目指すためにはの3部構成でした。

①設計業務については、建築業界の職種、実
務の中での建築家の位置づけ、建築士・建築
家・アーキテクトとは、建築設計事務所とは
、建築設計事務所とゼネコン設計部、設計か
ら竣工までの流れの6つの話題でお

ます。

また、昨年来議論を重ねて参りました建築学
科の改正カリキュラムもいよいよ来年度から稼働
いたします。導入教育とともに、3年次での演
習の充実化を図るものである関西大学建築学
科が築いてきた「強み」をより活かそうとする
ものでもあります。その評価は今後の点検等
を待ちますが、必ずや他大学にない個性的な
成果をもたらしてくれるものと確信をいたして
おります。

以上、皆様には学科の現状や今後の方向に
関してのご報告とともに、あるいはそれ以上
にお願いを申し上げることとなりました。関西
大学建築学科を母艦に、卒業生の方々からの
、現役の、そしてこれからの学生へのより一
層のご支持をお願いするとともに、皆様のより
一層のご健勝を心よりお祈りし小職からの学
科だよりとさせていただきます。

吹田市の生まれで、小中学生の頃は千里山
キャンパス近辺に自転車でよく遊びに来てお
りました。通りに並ぶお店は当時とすっかり
変わってしまいましたが、学生による活気あ
ふれる雰囲気は現在でもまったく変わらない
ようです。着任からそろそろ1年が過ぎよう
としておりますが、学生の印象として、素直
でコミュニケーション能力の高い方が非常
に多いと感じております。同研究室の河井康
人先生、宮崎ひろ志先生とともに、日々楽
しく業務に励んでおります。今後とも、建
築学科の皆様にご協力をいただきつつ、教
育と研究に全力を尽くす所存でございます
ので、千里山建築会の皆様からもご指導と
ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願
い申し上げます。

話いただき、自社でのご自身の作品「糸満市
庁舎」を実例にして構造、環境部署とも共
同して設計・監理を進めて行く様子をわか
りやすく説明頂きました。

②組織設計事務所については、代表的な組
織設計事務所と比較、組織設計事務所の業
務範囲、設計チー



ムの構成例、設計業界の状況、日本設計の
近作、OB紹介、組織設計事務所やゼネ
コン設計部の仕事と、戦略をもって経営に
関わりつつ、対応する仕事の状況や、他
の組織事務所との社員数比較から売上比
較など貴重なデータを多く示して頂きまし
た。

③設計業界を目指すためには、では、自
主的に学ぶ、設計業界での実体験、スキ
ルアップ、設計課題・卒業設計に命を
かける、アイデアコンペに参加、建築業
界の

退職にあたって // 馬場 昌子



私が関西大学に就職したのは建築学科創
設4年目でした。だから、関西大学建築学
科の一期生の皆さん方から現在に至る学
生さん(恐らく4000人くらい)を知って
いることになります。同年、荒木兵一
郎先生、浅野幸一郎先生も着任なさい
ました。ほぼ、建築学科のフルスタッ
フがそろった年でもありました。

就職したころは、ジーンズがはやり始
めておりました。もともとの作業着とし
てのイメージも強く、ホテルなどでは、
ジーンズ姿では丁重に追い出されたな
どということを知っています。キャン
パスのファッションも思い返してみれば
、結構移り変わりがあるもので、ボディ
コンが流行った時期には、妙になまめ
かしい女の学生さんたちが目立ったも
のです。この5-6年目立つのがロー
ウエストの男の学生さんたちです。今
、研究室の前の廊下には、しゃがんで
お尻の割れ目まで覗かせる格好で作
業をしている学生さんがいます。10
年くらいの単位で眺めると、関大キャン
パスの情景も随分変化しています。

私が就職したころが、ちょうど我が国
が高齢化社会に突入したころで、高
齢者の子供との同居率が下がり始め、
全国平均で8割を切ったころでもあ
りました。今現在が4割くらいです。
当時の「家族関係学」では、近代化が
進展すると核家族化も進み、高齢者
のみ世帯が増大するということは、
自明の理でした。が、世間では親子
同居の意識が根強く、親世帯と子世
帯は自立した別世帯であるなどと発
言しようものなら、発言の場にもよ
りませんが、睨まれたりしたもので
す。とあるシンポジウムで、司会役
の民放のアナウンサーが子供との同
居を強調されたのには参った思い出
があります。ところが、今や、介護
保険という社会制度で高齢者の介
護を受け持つという時代です。

社会は確実に変化しています。その
変化を合理的に見通すことは、結
構生きていく上で重要なことだと思
えるし、この何十年間かの関西大
学での研究生活を振り返っ

状況、就職活動の流れ、自己PRの
重要性と、ご自身の学生時代の勉強
方法、就職活動の話をお聞きし、採
用されるための自己PR書類の作成
方法に至るまで懇切丁寧にお話を
いただきました。

この成功事例をもとに、さらに他
の学年、主に1・2回生の学生に
刺激を与えるべく、4月のスプリ
ングフェスティバルで住宅産業
への就職とスマートハウス化の事
情を語り合う会を持ちます。ご
助力をお願いいたします。

でも、少なくとも、世間に実
体化する10年は先行した研究
テーマをとらえることが出来て
きたと思っています。ぐんと偉
い先生がたった10年先しか読
めなかったのか」と嘆かれた
というお話を伺った事があり
ますが、私の能力では、10
年先を読むのがせいぜいで、
外すことなくテーマ設定が
できてきたことにホッと
しています。

高齢者をキーワードとする
研究の端緒を作ったのが、
荒木兵一郎先生です。住宅
公団(現UR)がペア住宅
という親子隣居タイプの
集合住宅を作り、その評
価をするという委託研究
へのお誘いでした。その
後関西初のシルバーハウ
ジングプロジェクト(神
戸・シルバーハイツ菊
水)の企画レポートを
作成する仕事や、高齢
者住宅財団が創設され
、勤労者向けの比較的
低価格な有料老人ホーム
を供給しようというも
ろみでシニアハウス構
想が打ち出されました。
その関西圏での需要調
査の委託も受けました。
大阪府住宅改造助成事
業実施のためのモデル
事業や、実施時の冊子
作りをお引き受けする
など、極めて実践的な
研究活動に従事するこ
うできました。大阪府
営住宅におけるコレク
ティブ住宅の可能性に
関する研究は、時期尚
早であったのか、発展
形の「ふれあい喫茶」
として実体化したにと
どまりました。住居改
善にかかわる研究では
、福祉や医療・保健系
の研究者や実務家との
実践的研究や実践活
動に発展し、「NPO
福祉医療建築の連携
による住居改善研究
会」として、この20
年ばかりの間、結構忙
しくかかわっております。
某市の福祉のまちづく
り条例にかかわるマッ
プ作りや、交通バリア
フリー法に基づく基本
計画の作成、ケア連
携型バリアフリー改
修助成という国のモ
デル事業などです。こ
れからは研究ではなく
実践活動で世の中と
かわっていきたく思
っています。今しばらく
は、多少体力も残って
いると思いますので。

関西大学建築学科卒業の
皆さん方、町であつたら
お声掛けください。覚
えていないかもしれませんが、
その節は、何年ころの
卒業だとお教えくだ
さい。

皆さん方のこれからの
ますますのご活躍を願
っております。

2010年4月3日、恒例のスプリングフェスティバル・千里山建築会懇親会を建築学科会議室にて催しました。参加は16名と、少々さびしかったです。2期から35期まで、幅広い年代の卒業生が集まりました。話題提供のため、フィンランドの大学施設のスライドショーを行い、歓談のひとつときを持ちました。



事務局から

会計、事業報告

平成 22 年度会計報告 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
繰越金	¥1,674,030	総会・懇親会費	¥509,675
総会会費	¥1,299,840	名簿印刷費	¥450,100
会員会費		その他印刷費	¥10,600
銀行利息	¥67	通信費	¥261,578
郵便局利息	¥52,464	会議費	¥35,727
新規会員入会費	¥97,000	卒業記念写真代	¥79,000
合計	¥3,123,401	謝金	¥15,000
繰越金明細		繰越金	¥1,761,721
郵便普通預金	¥1,393,411	合計	¥3,123,401
りそな普通預金	¥333,363		
現金	¥29,947		
合計	¥1,761,721		

事務局からのお願い

千里山建築会では学内サーバーにホームページを設けています。イベントのお知らせや会報のカラー版なども掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

<http://www.arch.kansai-u.ac.jp/senri2003/index.htm>

同期やゼミで同窓会を開催されたときには、写真などを添えてその時の様子などをお知らせください。会報にどしどし掲載していきたいと思えます。

住所や勤務先に変更のあった方は、ぜひ新住所・連絡先を千里山建築会までお知らせください。

Facebook

平成 22 年度事業報告 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

平成 22 年度に実施した主な事業は次の通りです。

平成 22 年

4月17日 第1回幹事会開催

4月29日 総会・懇親会開催

5月14日 第2回幹事会開催

12月4日 第3回幹事会開催

平成 23 年

1月8日 第4回幹事会開催

3月19日 卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影

3月25日 会報第23号発行、会費納入者に発送

編集後記

- ・ 毎年恒例になってしまっている感がありますが、今年も発行が大幅に遅れてしまいご迷惑をおかけしました。
- ・ 今年新しい企画として在校生へ向けてのOBによる講演会を行いました。学生はあまり集まりませんでした。が今後も学生の集まる時間帯などを考えて実施していきたいと思っています。
- ・ 去年の八尾先生に続き今年馬場先生が定年退職されました。建築学科も創設50年になろうとしているわけで、先生方の世代交代も致し方ないところではあると思いますが一抹の寂しさを感じざるを得ません。